実践女子大学　生活科学部　現代生活学科　教員募集要項	
採用人数	１名（教授、准教授または専任講師）
勤務形態	常勤（任期あり）
研究分野	メディア情報学、知能情報学、および関連する AI 応用技術領域
業務内容 （担当科目）	下記の募集背景に基づく研究・教育・学務 ・担当予定科目：「基礎メディア技術」「応用メディア技術」「Web テクノロジー演習」「現代社会を読み解く（文化と市場)」「メディア・コミュニケーション」「統計とモデリング」「ゼミナール」「ファイナルプロジェクト」など ・その他の業務：委員会活動等専任教員としての校務や大学からの依頼業務など 【募集の背景】 現代生活学科は、環境・社会・人間性の複合危機を迎えた現代において、「人として生きることの意味」から問い、再編成を志す次世代の育成を目指して設立されました。近年の AI 技術の発展とその急な社会導入は、この三層の危機への対処とともに一層の先鋭化にもつながりえると考えられます。その認識のもと、本学科では AI の技術原理の理解に基づいた活用教育を進めておりますが、その取り組みの発展にご参画いただける方を求めています。 【求める人材像】 本募集においては、以下の学術領域のいずれかについての専門的知識･業績、および以下の実践領域についての経験(もしくは開発意欲)のある方を求めます。 ① 研究の基盤となる学術領域： 情報科学、情報工学、メディア情報学、メディアアーツ諸領域、情報システム、経営情報学など。 ※情報科学および人工知能に関連する専門性を有し、論理的思考（構造的アプローチ) を AI へのコーディングへと転換する「動的プログラム構築」および「AI マネジメント」に関する教育・研究分野。 ② 実践領域： 主に企業とのコラボレーション、プラットフォームビジネス創造、メディアアーツ諸領域、ネットワーク型の事業開発等（学生参加型のプロジェクト演習)
応募資格	以下のいずれの条件も満たす者 ・博士の学位を有する者（取得見込みの者を含む)、もしくはそれと同等の研究業績を有する者 ・上記の研究分野について高い専門性を有し、講義を担当できる者 ・学部学科の運営等に関する業務を積極的に遂行し、その責務を果たせる者
勤務地	実践女子大学　日野キャンパス（東京都日野市大坂上 4-1-1）

着任時期	2027 年 4 月 1 日（木）　※着任日は応相談
待遇	【給与等】「学校法人実践女子学園給与規程」及び「関係諸規程」による 【勤務時間・休憩】「専門業務型裁量労働時間制」に基づく勤務 ただし、「専門業務型裁量労働時間制」の同意を得られない場合は、 1 日 7 時間 25 分（休憩 50 分）週 5 日間の勤務となる。 【休日】「労働時間、休日及び休暇等に関する規程」による 【社会保険等】私学共済制度（健康保険・年金）に加入 雇用保険・労災保険加入 【任期】任期は 3 年とし、学部等が特に必要と認めたときは、教授会の議を経て、1 年単位で 2 回まで更新することができる（最長 5 年）。 【その他】学園の規程による
応募締切	2026 年 12 月 16 日（水）（必着）
応募書類 ※1～3 は必須書類。削除しないでください。	1. 教員応募用紙（写真貼付）1 部 2. 履歴書・教育研究業績書　1 部 ※上記 1、2 は、本学指定用紙を使用し、記入例を参照し作成してください。 （採用情報のページよりダウンロードしてください。） 3. 学位記の写し（またはそれに代わる書類）1 部 4. 主要論文（抜刷・コピー可）3 点 5. 本学での教育に対する抱負（書式自由　1200 字程度）1 部 ※応募書類は返却いたしません。なお、応募に関する個人情報は本選考以外の目的には一切使用いたしません。
応募書類 送付先	〒191-8510　東京都日野市大坂上 4-1-1 実践女子大学　学生総合支援センター教育総合サポート部　庶務管理担当 ※封筒の表に「現代生活学科　教員応募書類在中」と朱書きの上、簡易書留またはレターパックにて郵送してください。
選考方法	書類審査の後、面接審査を行います（面接審査時の旅費等は応募者の負担となります）。 ※面接審査日は、原則、下記のうちのいずれかを予定いたします。 12 月 22 日（火）、12 月 23 日（水）、12 月 24 日（木）いずれも 17:00 以降 （予備日　12 月 28 日（月）） なお、選考結果は、メールまたは文書にて本人に通知します。
問合せ先	実践女子大学　生活科学部　現代生活学科　教授　須賀由紀子 TEL：042-843-1218 FAX：042-843-1286 E-mail：gensei@jissen.ac.jp
備考	敷地内禁煙（近隣に利用可能な喫煙所はありません）